

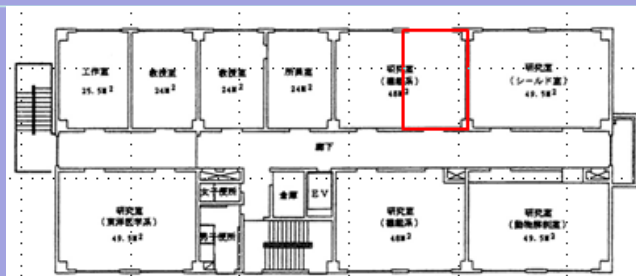
共同利用施設 案内

主任：桂 昌司

(薬理学ユニット:内線524)

室名：薬効解析室

場所：
5号館3階
内線：275



概要：

プロテオーム解析ができます。蛍光ディファレンスゲル二次元電気泳動法(2D-DIGE)による細胞内機能性タンパク質の発現変動や修飾の識別による組成解析が行えます。

タンパク質の組成解析は、感染や毒素、薬物などに対する反応や正常細胞周期においてそれらのタンパク質が担っている役割の解明に非常に重要と考えられています。

共同利用機器備品リスト：

1. 等電点電気泳動装置 (IPGphor 4) 1台
2. 二次元電気泳動装置 (Ettan DIGE) 1台
3. 画像解析システム (Typhoon 9500) 1台

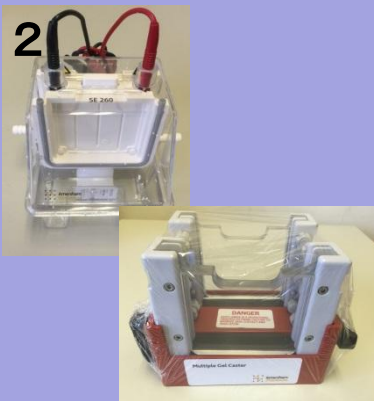
機器用途【何ができる？】

1. 固定化pH勾配技術 (Immobiline) を用いた等電点 (一次元) によるタンパク質の分離が行えます。
2. Homogeneous ゲルもしくは Gradient ゲルを用いて、分子量の違い (二次元) によるタンパク質の分離が行えます。
3. 画像取り込み機器 (Typhoon 9500) と画像解析ソフトウェア (ImageMaster) を用いて、スポットの数値化や定量化、またゲルイメージの比較が可能となります。

1



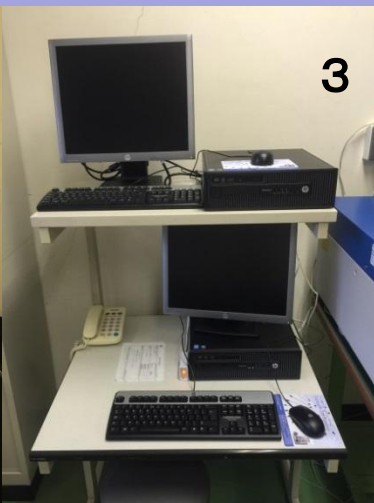
2



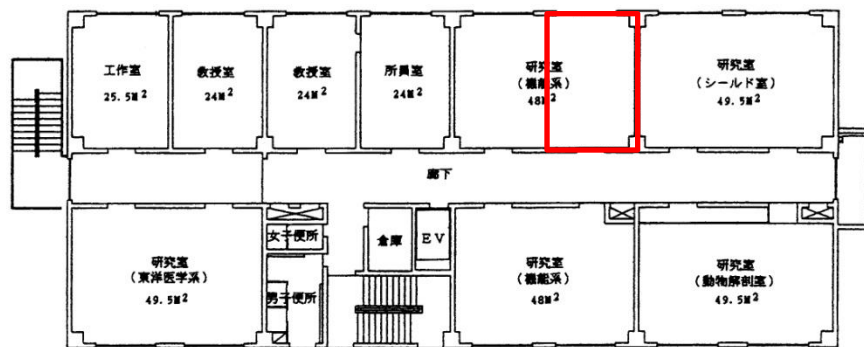
3



3



5号館 3階平面図



3階床面積

473.12M²